

宮崎市「事務事業の外部評価」 事業別対応方針シート

チーム名	第 1 チーム	担当課名	文化スポーツ課
事業番号	1-1	事務事業名	小中学校芸術鑑賞派遣事業

対応方針	拡 充
------	-----

判定結果に対する考え方、今後の方針等
<p style="text-align: center; font-size: 0.8em; margin: 0;">※ ()内の番号は、事業別判定結果シートの判定人からのコメント欄の番号に対応しています。</p> <p>(1) 実施校数の増加を図るため、無償で協力いただける宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団や宮崎市消防団音楽隊が出演しやすいよう、日程調整等に配慮しているところであるが、学校側の希望と出演者側の都合がマッチすることが前提となるため、現行の予算枠内での取り組みには限界がある。 したがって、対象となる学校及び児童数の拡充を図るため、予算を増額し、併せて、早期に学校からの希望を募ることで学校行事との調整が円滑に行われるようにしたい。また、対象を市立以外の小中学校(8校)を加えた81校に拡大することとしたい。(①) 見直し年度：平成24年度</p> <p>(2) 平成21年度から平成22年度までにかけて、実施校数が1校(25校→24校)減少しているのは、学校行事との折り合いがつかなかった学校が増えたためである。今後は、上記(1)のとおり、事業拡充のためにも早期に学校からの希望を募り、学校行事に組み込まれやすくするよう工夫したい。(②)</p> <p>(3) 本事業は、市立の小中学校73校を対象に、例年20校程度で実施しているため、全校が1ジャンルを鑑賞するだけでも3、4年かかる。全8ジャンルを実施するには、多額の経費が必要になるだけでなく、実施方法も複雑になるなど、対応は困難である。このため、小学校在学中に2回、中学校在学中に1回と、各校3年に1回のペースで実施できるよう、年間実施回数を27回に設定したい。(③) 見直し年度：平成24年度</p> <p>(4) 上記(1)の対応策と同じく、出演団体や実施希望調査の日程、市立以外の小中学校への呼びかけなどで実施希望校の増加を図りながら対応していきたいと考える。(④)</p> <p>(5) 児童・生徒の情操教育に関わる事業であり、また、広く公平に鑑賞の機会を設けるためには受益者負担を求めることは適当ではないことから、今後も市が行うべき事業であり、事業終了の期限等を設けることは当面考えていない。(⑤・⑥)</p>